

嘉南薬理大の訪問団が来網

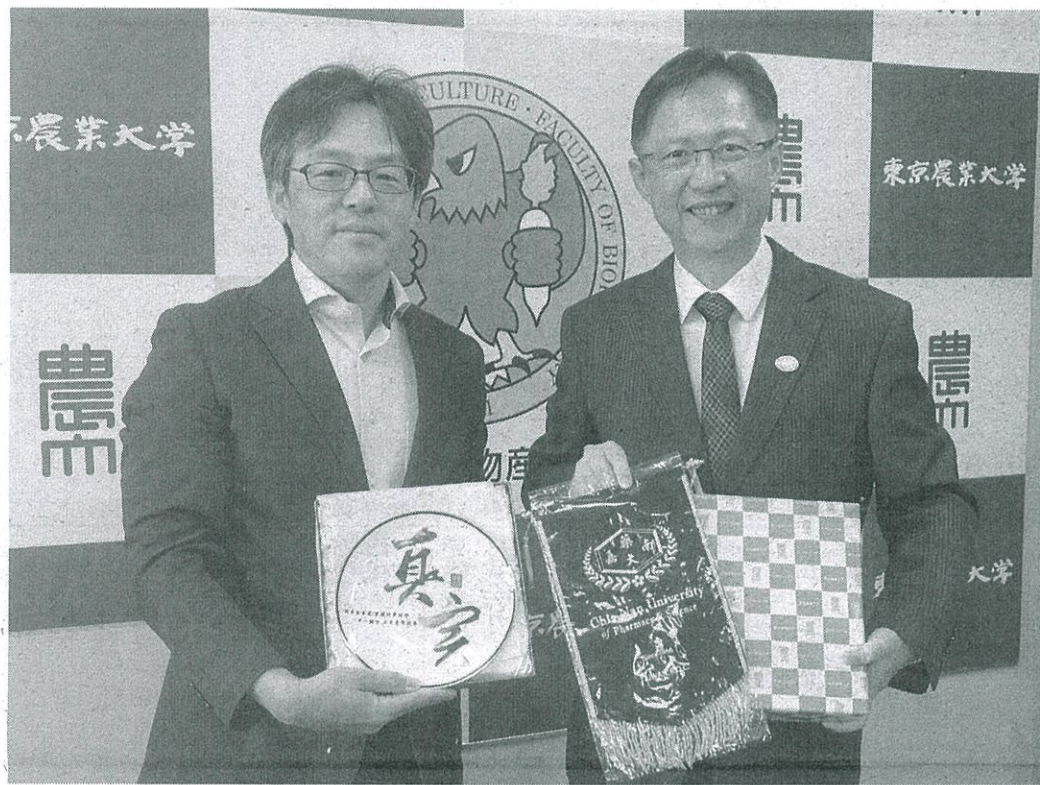
市内農業や介護を視察

東農大のコーディネートで

台湾・嘉南薬理大の訪問団がこのほど来網。道東の農業や介護事業などを視察した。東農大オホーツクキャンパスは、過去に同大と連携協定を結んでいたことから、網走市内の視察をコーディネート。表敬訪問では互いに記念品を交換するなど、旧交を温めながらの視察、案内となった。

（伊藤）

一行は、生活保健科 一行を、千葉晋学部長 つけかけに、また交流が技系の陳品農教授ら大らが出迎えた。学関係者のほか、台南 表敬訪問で千葉晋学部長の農業従事者や高雄 長は「嘉南薬理大は、これを受け、陳教授市の社会福祉士などの医療分野をリードするは「みなさん、こんにちは」と日本語であい



オホーツクキャンパスの研究室を見学する嘉南薬理大の一行

会や網走福祉協会の介護施設を見学。市内東部地区の農業地帯で、ドローンや自動操舵のトラクター、衛星画像を利用した農作業など、市内の最先端農業を視察。6日間の日程を終え、女満別から新千歳を経て帰国した。

さつ。さらに「訪問でなすきながら写真に収めていた。

薬理大は来年60周年を迎え、薬学や衛生学、環境学など30の学部がある。これからも、いろんな分野で交流したい」と、両大学の今後に期待を込めた。

この後、両者は記念品を交換。さらに東農大から日本の書籍や漫画本などのプレゼントもあり、一行はもてなしに感激していた。

食香粧化学科の佐藤広顕教授の案内で、一行はキャンパス内を視察した。

オホーツクキャンパスの施設は、冬でも問題なく移動できるよう、各棟が2階通路でつながっていると聞いた一行は「なるほど」とう

記念品を交換する陳教授（右）と千葉学部長